

越後丘陵公園

越後丘陵公園は、長岡市の西端に位置する国営公園で、その広大なレクリエーションエリアには手入れの行き届いた庭園や自然遊歩道、そして豊富な屋内外のアトラクションがあります。広さは 340 ヘクタールで、北側の「健康ゾーン」と南側の「里山フィールドミュージアム」の 2 つの主要エリアに分かれています。健康ゾーンでは主にレクリエーション活動が行われており、大きなバラ園や噴水と池、そしていくつかの遊び場などがあります。対照的に、里山フィールドミュージアムは主に自然景観で構成されており、ハイキングや散策のための広大なエリアが設けられています。多数のトレイルやアトラクション、展示物などで、あらゆる年齢層の訪問者が一年中公園を楽しむことができます。

入場料、サービス、アメニティ

1 日券は大人 450 円、65 歳以上 210 円、中学生以下は無料です。2 日券はそれぞれ 500 円、250 円です。12 月から 3 月までは入場無料です。正門前には広々とした有料駐車場があります。

正門にてベビーカー、車椅子、防水シート、歩行器、テントを無料で借りることができます。週末や祝日には無料シャトルバスが運行されており、園内の各エリアへ簡単にアクセスできます。小さなショップやカフェ、レストラン、そしていくつかの休憩所があり、リラックスして休息できる快適な屋内スペースを提供しています。コインロッカー、多目的トイレ、授乳室、救護室、喫煙所もあります。

健康ゾーン

健康ゾーンで最も人気のある場所の 1 つは、「香りのバラ園」です。曲がりくねった小道があり、約 800 種、2,400 本の色とりどりのバラの茂みの中をゆっくりと散策できます。庭園では、在来種と外来種のバラを 8 つの主要エリアに分けて生育しています。例えば、「香りのエリア」はフルーティーやスパイシーといったバラの香りのタイプごとに分けられており、「色彩のエリア」はバラの花の色によるグラデーションが作られています。

すぐ近くにある「花の丘」は、季節の花をテーマにした 3,000 平方メートルの広々とした空間です。4 月から 5 月にかけては、鮮やかな色の 180,000 本のチューリップが咲き誇り、8 月には背の高い鮮やかな色合いのひまわりが夏の終わりを告げます。9 月から 10 月にかけては、ピンクや紫、白のコスモスが約 300,000 本咲きます。

公園を象徴する雲の形をした「ふわふわドーム」のトランポリン、滑り台、ジップライン、芝そりエリアは子供たちに人気です。水が勢いよく噴出するトンネル、噴水、水を汲み上げる大砲を備えた水をテーマにした大きな遊び場は、家族連れに最適で、夏の暑さ対策として役立ちます。「音楽噴水」では 30

分ごとに音楽に連動した噴水ショーの演出があり、夏の夜には、水の流れが色とりどりの光で照らされます。冬の娯楽としては、スキーやそり滑り、森の中のスノーシューコースなどがあります。

その他、健康ゾーンにはアウトドアができるスペース、公園を 360 度見渡せる展望台、そしてバーベキュー用品のレンタルができるピクニックスペースなどがあります。

展望台への道の途中の、専用エリアには雪割草（英語でヘパティカ、バースアイプリムローズとも呼ばれる）が植えられています。雪が解けると真っ先に現れる花の一種で、ピンクや白、青紫色に咲き、長岡市のシンボルとされています。雪割草は生息地の減少と乱獲により希少になってしまいましたが、国営越後丘陵公園では大切に育てられています。専用エリアには約 20 万株があり、毎年約 1 万株が追加されます。

里山フィールドミュージアム

里山（文字通り「里（村）の山」）は、人々が農耕、木の実や山菜などの採集、薪集めを行っていた山の麓の地帯で、地域の生態系の保護に役立つ持続可能な方法で天然資源を利用していました。里山フィールドミュージアムの中心には、田んぼの横に 2 軒の古民家が建っており、昔ながらの村のように見えます。小さい方の家は、江戸時代（1603 年～1867 年）の茅葺き民家を復元したものです。田舎の家の間取りと見た目をそのまま残し、古い調度品が揃っている様子は、越後国（現在の新潟県）での日常生活がどのようなものだったのかを感じさせてくれます。大きい方の家は、明治時代（1868 年～1912 年）の建物から回収された素材を使用して建設されました。農機具や蓑などの里山で使われていた品々や養蚕関連の品々も展示されています。

自然遊歩道で森や野原の中をゆっくり散歩することや、長時間のハイキングをすることは、この地域に生息する多くの鳥、タヌキ、野ウサギ、その他の野生動物に出会える絶好のチャンスとなります。「花の森」の遊歩道には、春から秋にかけて野草や花々が豊富に生い茂り、冬が終わるとすぐに 100 万本を超えるカタクリが開花します。遊歩道は、越後三山（八海山、越後駒ヶ岳、中ノ岳）と周囲の風景を一望できる展望ポイントへと続いています。

2 か所ある湿地は、さまざまな水生植物、昆虫、クロサンショウウオを含む両生類の生息地となっており、複数の絶滅危惧種の重要な保護地としても機能しています。未舗装の道、木製の橋、遊歩道を歩いていると、湿地周りの散策や豊かな動植物を間近で観察することができます。

このゾーンでは他にも、無料の貸出道具一式を備えたパークゴルフ（クロッケーとゴルフの融合）や、小さな子供向けに造られた小さな障害物コースのある遊び場などのアクティビティが利用可能です。